



5月29日、東谷公民館で「市政報告&ざっくばらん懇談会」を開き、初めての方にもたくさん参加していただきました。

地域の方の一番関心のある市立川西病院の指定管理者(協和会)制度導入について、たんぽぽだよりや資料をつかって、4月以降の状況や5月から看護師退職に伴う4階北病棟(37床)休床、7:1看護から10:1看護体制に変更になった内容を報告しました。

「健幸マイレージ」4.5倍加

たくさんの方の反対意見がある中、廃止された高齢者交通費補助「高齢者おでかけ促進事業」(決算額4944万円)。代わってスタートした「健幸マイレージ」の今年度予算は、なんと当初比4.5倍の6610万円(委託料5972万円)に膨張。

市の国民健康保険事業は、9億6000万円の基金を積んでおり、1人1万円引き下げののに必要な財源は3億4000万円であること。アステ川西やパルティ川西には、無利子・無担保でお金を貸し、別途賃料としてお金を払っている市のあり方などを報告。

「まちかどカフェ」やります!

税金の使い方・使われ方を市民生活中心に変えていけるよう、実態を知り、みんなで声をあげましょうと呼びかけました。

広報誌 鶴呑みはだめ

参加された方が、「市の広報でしか知ることができず鶴呑みにしていた」「知らないことばかり。知らせていかなければ」「どうしたらいいか。自分が声をだしていかねければ」「誰かをお願いするのではなく、みんなで荷を軽くしていこう」と口々に発言。

参議院選挙で選ぶ

「この夏の参議院選挙でしっかり私たちのために働いてくれる人を選びなければ」という発言も。改めて「金田峰生さんはすぐに国会で活躍できる実績」などをお伝えして散会となりました。

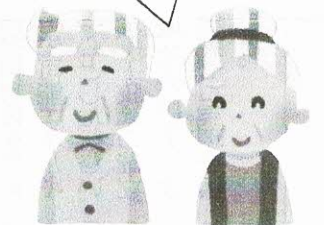
まちかどカフェやります

私たちは「情報」がなければ感じることも考えることもできません。確かな情報が必要です。そこで、それぞれの地域で公園(まちかど)カフェ(市政報告&ざっくばらん懇談会、日本共産党のお話など)を計画しています。

日程は下記の通りです。どなたでもお気軽にご参加ください。*雨天の場合も行います。*

日程 (開催時間は約1時間程度)	公園(まちかど)カフェ 開催場所&時間	
	朝10:00~	午後2時~
6月25日(火)	笹部3丁目・笹部公民館前	笹部2丁目・平野神社前
6月26日(水)	緑ヶ丘2丁目 西緑ヶ丘やすらぎ公園横	緑ヶ丘1丁目 緑ヶ丘東公園横
6月30日(日)	美山台3丁目・深山池公園横	東睦野5丁目・なかよし公園横
7月1日(月)	—	清流台・清流台第2公園横
7月2日(火)	大和西2丁目・平木谷公園横	大和東5丁目・大和第10公園横

高齢になっても安心して住み続けたい



猪名川町の

『町立中学校再編計画(案)に係る説明会』について

地域の方から、「美山台・丸山台のこどもは、猪名川町立中谷中学校に通うことになるのですか」と問い合わせがありました。私(黒田)としても、全く知らないことですので、すぐに川西市教育委員会に事実確認をしました。

現在、猪名川町では、「町立学校のあり方に関する基本方針の改定および町立中学校再編計画(案)に係る説明会を開催されています(7月10日まで計10回)。その説明会の中で、「猪名川町が、連携協定を結んでいる川西市、丸山台・美山台から中谷中学校へ編入してくる」という内容の発言が町教育委員会からあったようです。(市教育委員会で確認)

しかし、川西市としては、「猪名川町との連携協定の具体について何も話し合いをしていない。市としても、連携協定の内容についての具体は何も行っていない。決まっていない」ということを石田剛教育長からも確認しています。

6月17日以降、市教育委員会は、町教育委員会に直接事実確認を行い対応していますが、私(黒田)は、住民に混乱を与えないよう、しっかり対策をとるよう申し入れをしているところです。

北陵地域は、中学校予定地のまま多目的グランドとして使用中。東谷中学校へのバスや電車の通学費補助のあり方など課題が山積。市民への情報提供・市民の声や願い優先の施策を求めています。

黒豆の声

川西市では、保育所や留守家庭児童育成クラブ、幼稚園や学校などの臨時保育士・指導員確保で厳しい状況が続いています。

川西市の保育士さん・時間給1186円。1か月働いても23万7200円。池田市は時間給1380円。1か月25日働くと38800円の差。1年だと46万5600円の賃金格差になります。これは保育士さん確保だけの問題ではありません。

兵庫県の最低賃金871円、大阪府936円。65円差。これでも1年間で15万6000円の差になります。果たして物価や家賃が川西市は安いでしょうか?最低賃金の引き上げや全国一律の賃金制度の確立は待たなしの課題です。

もちろん、賃上げのための中小企業支援の拡充も一緒に進めなければなりません。現政権が進めている中小企業の賃上げへの支援の予算はわずか7億円(1社あたり200円)。でも、「賃上げ減税」の額は3849億円。半分以上は大企業、中小企業で対象になったのは4%程度。「消費税の10%増税やめて」の署名・宣伝をしていると、「最低賃金、1000円は必要」「教育ローンをどうにかしてほしい」切実な声。

「老後が不安」高齢者の悲痛な叫びがいっぱい。やっぱり大元の政治を変えましょう!大切な1票、投票を!

